

# 指定管理者制度導入施設の管理運営検証結果【検証シート】

			管理No.
<b>施設の名称</b>	弓張平公園	<b>指定管理者</b>	弓張平公園管理運営企業体
<b>所在地</b>	西村山郡西川町大字志津172-3	<b>県担当課</b>	村山総合支庁建設部西村山道路計画課
<b>指定期間</b>	令和5年4月1日 ~ 令和10年3月31日		
<b>検証期間</b>	令和6年4月1日 ~ 令和7年3月31日		(電話番号) (0237-86-8127)

検証項目	指定管理者による自己検証	県(施設所管課)による評価・検証	
------	--------------	------------------	--

1 仕様書等に沿った管理・運営業務の履行状況			
① 管理・運営業務の履行状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理基準に基づき適正に実施しました。</li> <li>・施設や設備機器で緊急性を伴う事や安全に支障があるものについては、件の担当者と連携を図り速やかに対処しました。</li> </ul>	評価  A	<<評価の理由>> ・維持管理水準に基づいた適切な管理がなされている。 ・大雨時のキャンプ利用者への対応について、空いているコテージの無償提供の案内を行う等、迅速かつ適正であった。
② 管理・運営上の課題、問題点(改善すべきこと)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の経年劣化による不具合が多く適切な対応が必要で</li> <li>す。</li> <li>・公園利用者を増やすために現代のニーズに合わせた施設の改修が必要です。</li> <li>・管理水準書に記載のない業務もあるため業務の透明化が必要です。</li> <li>・繁忙期に台風や大雨によりキャンプ場利用者が減少したため、災害などによる収入減の対策が必要です。</li> </ul>	<<課題等の原因分析>> ・雪による施設の劣化・損傷に対応が追いついていない。 ・現在の管理水準やその他必要な維持管理は運営委費の上昇により困難となっており、その分析が必要。 ・有料施設のキャンセル料を設定していないため、キャンセルによる想定収入の減少が大きい。	
課題、問題点への今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の経年劣化について、今後とも適切な保守点検と保全処置により施設の長寿命化に努め、利用者の安全性や不要な施設の統廃合を考慮した計画的な修繕・改築等を行っていく。</li> <li>・維持管理水準と現状の乖離について、精査し、利用状況に沿った管理になるよう精査していく。</li> </ul>		

2 利用者からの要望等への対応			
① 意見・要望等及びその対応状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冬季間利活用の要望があり地元団体、西川町等と弓張平公園の冬季利用に向け連携を図りました。</li> <li>・今後も冬季間のパークプラザ活用と地域との連携を地域の方より期待されています。</li> <li>・自然を満喫できたという意見がある反面、Wi-Fiなど現代的な設備のニーズも求められています。</li> </ul>	評価  B	<<評価の理由>> アンケートの実施について、集計結果に基づいて次のアンケート作成に反映し、事業に活かせる形に集約するといった連続性が必要と考えられる。 コンビニや食事場所の回答に対して、売店で置いて欲しいもの提供して欲しい食事のアンケートを取る、遊び場や遊具の回答に対し、年齢や要望遊具を調べるアンケート、温泉やお風呂が欲しい意見に対して、地域と連携して近所の温泉マップや入浴割引券を検討する等。 また、無償エリア利用者からもアンケートが取れるように二次元コードを園内に配置する工夫等検討が必要。
意見・要望等への今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冬季間の活用要望については、指定管理者の負担についても利用団体と積極的に協議を行っていくこと。</li> <li>・アンケートの実施について、結果に基づいて次のアンケート作成に反映し、事業に活かせる形に集約するといった継続性をもたせること。</li> </ul>		

3 指定管理者制度活用の効果			
① サービスの向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年の夏と秋のイベントに加えて、パークヨガやテントサウナ、軽食販売、e-sportsイベントなど利用者満足度を上げるための事業をしています。</li> <li>・SNS、HPでの情報発信から情報誌等への記事広告など様々な媒体においてPRを行い、利用者への情報提供に努めました。</li> <li>・地域の大学との連携を図り、公園の魅力向上を図りました。</li> <li>・電子決済システムを導入し利便性向上を図りました。</li> </ul>	評価  B	<<評価の理由>> 情報発信について、SNSの特性を活かした、リアルタイムの情報発信や利用者のハッシュタグを引用する仕組みなど、公園の魅力を利用者が理解しやすい工夫が継続的に必要。
② 経費の節減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作業車に電気自動車を導入するなど化石燃料の削減に努めました。</li> <li>・職員間のやり取りは紙ではなく情報共有システムを利用しました。</li> <li>・冬季休業期間は職員の休日を合わせ効率化するなど、施設での作業時間を短縮し電気などの使用量を削減しました。</li> <li>・SNS、HPでの情報発信から情報誌等への記事広告など様々な媒体においてPRを行い誘客を図り、収益増進に努めました。</li> </ul>	評価  A	<<評価の理由>> 冬季休業期間の休日調整や用紙の縮減など経費の縮減に努めた。
③ その他(地域の活性化、雇用の確保等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺地域の事業(イベント、周辺部草刈り等)にボランティアとして参加しました。</li> <li>・地域の方を臨時職員として積極的に採用しました。</li> <li>・清掃作業、刈払い作業等で西川町シルバー人材を積極的に活用しました。</li> <li>・町や観光協会などのイベントに施設を貸し出すなど積極的に協力し、公園利用者の増加にもつながりました。</li> </ul>	評価  B	<<評価の理由>> イベントや季節の節目に地域住民への情報共有や挨拶を行い、地域の要望を集める対応も必要。 特に、公園内の民営施設区は公園と一体となって活性化を目指している場所なので、適時情報共有や挨拶を行い要望の収集に努めること。
総合的な評価	概ね適切な管理運営がなされている。 地域連携について、今後も適宜、情報共有や要望収集に努め、協力関係を構築していくことが求められる。 情報発信や要望収集について、コストを抑えて成果につながる仕組みづくりが求められる。		

### 【評価指標】

- A : 仕様書等に定める水準を上回っている等、優れた対応がなされている。
- B : 概ね適正に実施されている。
- C : 部分的に改善等を要するところがあるが、既に対応済み又は対応見込みである。
- D : 仕様書等に定める水準に達しておらず、大いに改善を行う必要がある。

注1) 検証項目については、施設の特性等に応じて適宜追加することができるものであること。

注2) 県(施設所管課)による評価・検証については、具体的な事例や数値により、評価した点を分かりやすく記載すること。